

## 参考資料：『地域おたすけガイド』の更新にあたって

### 1. 『地域おたすけガイド』の実践や更新に向けて

#### (1) 防災福祉コミュニティで備えておくこと

##### ① 連絡体制を整える。

- ・ 小学校との連携（鍵保有者の把握等）
- ・ 役員などのLINEグループをつくっておく

##### ② 必要な防災資機材・備蓄品等を確保し、リスト化しておく。

（本部、各地域の拠点、防災資機材庫）

【確保が望ましいもの】ロープ、マスク、ゴーグル、  
携帯電話の充電器

【注意】定期的に防災資機材庫に保管している物を確認しておくこと。  
実際に動かしてみる

##### ③ 様々なタイプの訓練を行ってみる。

- ・ 救出救護訓練（消防団がノウハウを伝える）
- ・ ご高齢の方の消火訓練（放水訓練）

…昼間はご高齢と子どもしか地域にいない可能性が高いため

##### ④ 住民が各自で備えておくことを、ニュース・訓練などで啓発する。

<各自で備えておくこと>

- 1) 防災に関する知識を集める
- 2) 各自で非常食を備えておく
- 3) 消火器等を備えておく（すぐ持ち出せるように玄関に置く）
- 4) マイコンメーター、感震ブレーカーを設置しておく
- 5) 日頃からご近所の人とコミュニケーションをとっておく
- 6) ご近所の方の暮らしを知っておく（家族構成・生活サイクルなど）

#### (2) マンション・自治会等で備えておくこと

##### ① 助けが必要な人の確認方法（安否確認方法）を話し合っておく。

- ・ 自治会・マンション毎で、確認方法を話し合う。
- ・ 事前に住民・入居者を対象にアンケート調査を行う。
- ・ 入居時に世帯属性等を確認できるようにする。
- ・ 災害時の集合場所を決めておく（入口ロビー等）。
- ・ LINE等の情報網をつくる（マンションは単一ではなく複数がよい）

## 2. 大雨・津波等対応の『地域おたすけガイド』にするために

### (1) 本部設置について

#### 【設置のタイミング】

- ・ **特別警報**<sup>※</sup>が出された場合、または地域内に**土砂災害警戒情報**若しくは**避難準備・高齢者等避難開始の情報**が発令された場合が望ましいです。
- ・ 本部の設置を迷う時は、役員間で連絡しあって判断することが望まれます。

参考) 特別警報とは？

特別警報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、最大級の警戒を呼びかけるために発表される警報</li></ul>
------	---

参考) 避難情報の種類

避難準備・高齢者等 避難開始	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。</li><li>・ その他の人は、避難の準備を整えましょう。</li></ul>
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 速やかに避難場所へ避難をしましょう。</li><li>・ 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。</li></ul>
避難指示(緊急)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。</li><li>・ 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。</li></ul>

#### 【設置場所】

- ・ 東灘小学校の西側街区は、洪水（外水はん濫）による浸水想定区域、内水はん濫による浸水想定区域に指定されていますので、小学校への進入ルート・場所には十分注意することが望まれます。
- ・ また東南海・南海地震で津波警報が発令された際には、『東灘小学校区東南海・南海地震津波防災計画 津波防災マップ(2013年作成)』では、国道2号よりも北側に避難することにしています。
- ・ これらのことに留意しながら、本部の設置場所を検討する必要があります。

## (2) 活動の流れ

### 【津波】

- ・特に東南海・南海地震で津波警報が発令された際には、国道2号よりも北側に避難することが先決です。
- ・地震発生から津波が来るまで、約100分と予測されていますが、できる限り早く、国道2号線の北側へ（避難が難しいようならば、できる限り高いビル・マンションへ）避難する必要があります。
- ・避難の後、本部設置や安否確認等を行うことが求められます。

### 【大雨】

- ・大雨時は、被害になる前（災害の前）に、早めに行動を開始することが求められます。特に高齢者・障がい者等については、早めに避難等が必要です。
- ・高橋川沿いや深江駅付近では、浸水想定区域に指定されています。浸水深が浅くても、歩行や自動車の走行に支障をきたすことがあるので避難ルート等には注意が必要です。

## お助けガイド作成協力団体

(順位不動)

主催 東灘小学校防災福祉コミュニティ

後援 東灘消防署・東灘消防署青木出張所・東灘小学校  
神戸東灘区役所まちづくり課・東灘消防団本庄深江分団  
1.17KOBE ぼうさい委員会・神戸新聞社

協賛参加団体・

東灘小学校区各自治会

(繁栄・札場地区・稲荷筋・本王寺・深江本町1丁目・長栄町・  
深江南町1丁目・カネボウアーバンマンション管理組合・本庄北)  
きらり保育園・第2きらり保育園・青少年育成協議会東灘支部  
深江北部民生児童委員協議会・本庄あんしんすこやかセンター  
本庄地区婦人会・ひがしなだ身障者地域生活支援センター  
東灘小学校PTA・東灘のぞみ幼稚園

まとめ 夢空間工房

# 東灘小学校区 地域おたすけガイド 防災マップ

参考) 洪水・津波想定を追加

凡例

●	消火栓	■	掲示板
●	防火水槽	■	公園・広場
100t	100t貯水槽	+	病院・医院
水	動力ポンプ	歯	歯科
プ	プール	+	薬局
団	消防団詰所	福 社	福祉施設
井	井戸	食	食料品店
ゆ	風呂屋	コ	コンビニ
防	防災資機材庫	防	防災行政無線子局 (ラジオ型)
倉	倉庫の鍵	こ	子ども110番
避	避難所	車	車いす設置所
公	公衆電話		

- 暫定津波警戒区域 (標高4.2mライン)
- 内水はん濫による浸水想定区域
- 洪水 (外水はん濫)による浸水想定区域 (0.5m未満)

子ども110番「青少年を守る店・家」

いざという時に、助けを求めてきた子どもたちの一時的な保護などにご協力頂ける店や家を表示するステッカーです。自分の通学路で確かめておこうね。

## 凡例

- 赤色表記 危険な箇所 (大きな道路等)
- 危険な箇所 (水関連)
- 避難ルート
- 一時的避難場所 (地震時)
- 本部
- 各地域の拠点
- 防災資機材庫
- 資機材等の協力が得られそうところ
- 小型動力ポンプ備付防火水槽

<危険なところ>

- 古い住宅、特に密集しているところ
- 外壁のガラス落下
- 塀の倒壊
- 大きな道路の横断
- 工場

<資機材等の協力が得られそうところ>

- 事業所・工場、店舗
- 医院・病院・薬局

<避難等の支援が必要なもの>

- 高齢者、障害者、子どもの多いところ (老人ホーム、幼稚園・保育園、共同作業所など)



阪神電車 (高架整備まで) 踏切で人と車が混乱しそう

地区内への避難が難しい場合は、芦屋市体育館・青少年センター・精道小学校へ

高速道路 横断等危険

安全と考えられる避難ルート

ベース地図: コミュニティ安全マップ (東灘小学校区) 平成14年作成